

「第78回市民糖尿病教室報告」

糖尿病対策委員会 担当理事 上野 雄史

日時：平成22年5月16日（日）

場所：下関医師会館

受講者：137名

内容

1. 糖尿病に関する展示
2. 講演
3. 糖尿病食試食会

去る5月16日に、第78回市民糖尿病教室を開催致しました。弘山医師会長をはじめ、医師会糖尿病対策委員の先生方、田中看護師長をはじめ医師会病院の看護師の方々、椿技師長をはじめ検査技師の方々、下関市保健所健康づくり課の職員の方々、医師会病院、基幹病院、の栄養士の方々、医師会事務局の方々と多くの方にご協力頂き、例年より多くの137名の市民の皆様のご参加を頂きました。

糖尿病に関する展示に関しましては、医師会館3階で、希望者に対して簡易健康診断と今年は医師の相談コーナーを設け、個別相談を行いました。展示ブースでは、看護師、技師、栄養士の皆さんが報尿病について分かりやすく解説したパネル、ポスターを展示および健康食品の展示を行いました。また、毎回好評の栄養士による糖尿病食調理のミニレクチャーを催しました。今回は電子レンジを用いた油を使わない調理法で、多数のご参加を頂きました。今年は、例年より講演時間開始を30分遅らせ、余裕をもって見学して頂くようにしました。

10時30分より、弘山会長のご挨拶に続き、済生会福岡総合病院内科 佐々木 修二 先生に「糖尿病との付き合い方～すい臓に優しさを～」という演題で講演をして頂きました。糖尿病について基礎的なわかりやすい講演で、出席者からのご意見でも大変好評でした。

講演会終了後、医師会館4階にて試食会を行いました。今回は100名を超える試食会参加

者があり大変盛会でした。参加者5～6名の各テーブルに、医師、栄養士が1名ずつ同席し、一緒に試食させて頂き、個別相談、歓談を行いながら和やかな雰囲気です。試食会は終了し、市民糖尿病教室を終了致しました。

市民糖尿病教室は昭和46年から始まり、開催当初より、教育講演、昭和48年から試食会開催と、多くの方のご尽力により、徐々により充実した内容となり、現在、下関市医師会の継続事業として年2回開催しております。毎回、100名を超える参加者をお迎えし、参加者からもアンケートの回答でも市民糖尿病教室に対して多くの好意的な意見を頂いております。しかしながら、近年、糖尿病学会、基幹病院等が主催で、市内において多くの市民向けの公開講座、糖尿病教室、栄養指導が開催されている中、担当理事として本市民糖尿病教室を今後どのような形で継続していくべきであるのか思い悩むところがあります。また、本市民糖尿病教室は、準備、開催にあたり看護師、技師、栄養士の方々の協力が不可欠で、業務が多様化し多忙となっている中、現行の形での年2回開催が大変な負担となっているのも事実であります。様々な問題点、改善点がありますが、今後、よりよい形で市民糖尿病室を継続していけるよう努力する所存でありますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

次回予定

第79回市民糖尿病教室

開催日：平成22年11月14日（日）

講師：産業医科大学 第一内科

講師 岡田 洋右 先生